

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 尼崎信用金庫（証券コード：-）

### 【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的

### 格付事由

- (1) 兵庫県尼崎市に本店を置く資金量 2.5 兆円の大型信用金庫。尼崎市内に充実した店舗網を持ち、同市内で地域金融機関トップの預貸金シェアを有する他、尼崎市に隣接する兵庫県内、大阪府内でも一定の事業基盤をもつ。格付には地元阪神間における比較的堅固な事業基盤、保全と小口分散の効いた貸出金、良好な資本水準などが反映されている。一方、貸出金利回りの低下などにより基礎的収益が減少傾向にあり、その歯止めをかけられるかが課題である。
- (2) 資金利益の落ち込みを主因に、17/3 期のコア業務純益は前期比 11 億円減益の 33 億円となり、ROA（コア業務純益ベース）は 0.12%と業界平均に比べて低い水準が続いている。一方で、有価証券売買益などの下支えにより、当期利益は A レンジの信金の中でも高い水準を確保している。今後は引き続き貸出金利回りの低下により収益性は低下する懸念がある。このため、コンサルティング機能の発揮や中小企業向け貸出開拓の取り組み強化、経費削減などにより収益力の強化を図れるか注視していく。
- (3) 貸出金は住宅ローンを含む個人向けが少なく、製造業を中心とする中小零細企業向けの比率が高い。金融再生法開示債権比率は低下傾向にあり、17/3 期末は 4.19%と信金平均を下回る水準にある。開示債権に対する保全率は 92%と高い水準が維持されており、大口の破綻懸念先には保守的に引当がされている。保全と小口分散の効いたポートフォリオから、今後も多額の与信費用が発生する懸念は小さく、落ち着いた水準で推移するとみられる。
- (4) 有価証券は国債から事業債、外国証券、投資信託などへと分散投資を進めており、残高も積み上げている。また、高水準の有価証券売買益を確保する一方、超長期債や米国債などの損切りにより、ポートフォリオのリバランスを進めている。ただし、債券のデュレーションが長いことから金利リスク量や残高の増加に伴い株式・投資信託などの価格変動リスク量は、資本対比で高い水準にある点には注意を要する。
- (5) リスクアセットの増加により連結コア資本比率は低下したものの、17/3 期末で 17.45%と A レンジの地域金融機関の中でも高水準にある。今後も厚い自己資本を背景にリスクをとった有価証券運用などにより収益を確保していく方針であり、その動向や成果を見定めていく。

（担当）大山 肇・加藤 厚

### 格付対象

発行体：尼崎信用金庫

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年10月31日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三  
主任格付アナリスト：大山 肇
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）「銀行等」（2014年5月8日）として掲載している。
5. 格付関係者：  
（発行体・債務者等） 尼崎信用金庫
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル